



いつか 必ず きつと

3年生に感謝の気持ちを込めてパート3！

卒業式に向けて1学年に与えられた役割は、会場周辺の環境整備でした。各学級が5～6か所を分担し2時間かけて掃除しました(3/9)。目をそむけたくないような便器の黄ばみに果敢に挑み、スリッパの裏も丁寧に磨く。狭い場所に入り込んでゴミを掃き出し、ジャージや靴下を濡らして水アカをとる。壁も階段も、外の通路も、昇降口も玄関も花壇も。卒業式を大成功させるために……。気がつけば、あっという間にチャイムが鳴っていました。そして、やり遂げた気持ちが清々しい笑顔となって表れていました。この光景をこの一年間何度となく見てきましたが、何度見ても新鮮な幸福感があります。これが完全燃焼軍団の「成幸体験」です。働いた後の給食のチャームは、最高においしかったです。



3年生に感謝の気持ちを込めてパート4！

3/10の放課後に、各学級男女各3名ずつの飾りつけ精鋭隊が3年生の昇降口の飾りつけを行いました。やりたいことを確認してスタートしたのも束の間、すぐに壁にぶつかりました。ひらがなの「ありがとう」もハートの形もうまく表現できないし、花はうまく貼りつかず、すぐにポロポロと落ちてしまいます。どうしたものか……。文字をカタカナに変え、花の一つひとつを画鋸で止める作戦に変更しました。脚立に登って花をつける人、下から花を渡す人、少し離れたところから、文字の形やバランスをみてアドバイスする人、花を昇降口に運ぶ人、片づけを頑張ってくれた人、BGMとして、卒業ソングを歌う人。火のついた完全燃焼軍団はもう止まりません。完全燃焼軍団のモットーは、「そこそこやるな」ではなく、「そこまでやるか」。大満足の飾りつけが出来ました。3年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。今まで本当に「アリガトウ」ございました。



(完全燃焼軍団一同、心より感謝いたします。)